

第 101 回 薬剤師国家試験問題検討委員会「実務」部会報告書

平成 28 年 5 月 19 日

日 時 平成 28 年 5 月 7 日(土) 13:00~17:00

場 所 近畿大学薬学部

出席者

私立大学	55 校	76 名
国公立大学	15 校	16 名
計	70 校	92 名

委員長名	高田充隆
所属大学名	近畿大学

1. 総合評価

薬剤師として最低限知っておくべき知識を意識した問題や処方提案、処方解析、検査値の理解等の今後の薬剤師に強く求められている問題解決能力を問う実践的な問題もいくつか出題されており、これらの点については評価できる。一方、がん化学療法に関する問題がやや多いなど疾患に偏りがみられた。新コア・カリキュラムで提示されている「重点疾患領域」に準じたバランスのある出題が望まれる。写真や図をとり入れた実務実習（臨床）に関連した問題もあったが、調剤学の基本的問題が少ないように感じられた。また、本文（症例、処方）は良い問題であるが、選択肢があまりにも平易で、本文ないし処方を読まなくても選択肢を読むだけで解答が導ける問題が散見された。その結果、今回の国家試験の難易度については簡単であったという印象を与えているように思われた。なお、出題意図が理解しにくい問題もあったので、配慮が必要である。

2. 各項目の評価

1) 誤りがあると判断された問題

問 208（採点対象から除外された問題）：出題者は 1 と 5 を正解としているようであるが、選択肢 1 は、用法として「就寝前」と明記されている限り、処方内容を変更するためには、患者にインタビューを行って服薬状況を確認し、医師への疑義照会を行って処方意図を把握する等の行為が必要である。医療現場では、薬剤師が臨機応変に患者応対を行う場合もあるが、少なくとも、服薬指導を行っている状況説明に関する情報の提示が必要である。

問 228：ファモチジンの慢性胃炎（急性増悪期）の承認用量は、1 回 10mg を 1 日 2 回また、1 回 20mg を 1 日 1 回であり、処方 1 に記載されているファモチジンの用量「1 回 20 mg、1 日 2 回」は過量である。

問 262：「 γ -GPT」の記載は「 γ -GTP」の誤りである。

問 331：セフジトレンピボキシル小児用細粒 10% は、先発品・後発品とも 0.5g 分包品がある。そのため、スパーテルを用いなくても調剤が可能である。また、調剤指針に軟膏の混合方法として乳鉢乳棒を用いる方法が提示されているため、選択肢 2 を否定できない。

2) 問題の観点から不適切である問題

問 208：選択肢 1 は正解とも不正解とも解釈でき、問題としては不適切である。ゾルピデムの用法が頓用になっていれば良問になっていたかもしれない。

問 212：一般的には、処方1～3はプレドニゾロンの漸減であると考えられるが、日付や服用順序の指定がないため、医療現場でも疑義照会の対象となる。このため、選択肢3は、必ずしも間違った内容とはならない可能性があり、誤解を生じている。

問 226：入院患者と思われる症例に高カロリー輸液を始めて2週間後に、ビタミン剤の補充を考慮するという設定自体が不自然であり、かつTPNの内容が不明である。

問 268：出題意図は理解できるが、タバコ摂取を選択肢とするのであれば、チザニジンを選択肢にするより、もう少し影響が大きいとされる別の薬剤の方が望ましい。

問 270：イマチニブのTDM頻度がまだ少ない現状（平成24年保険適用）から考えて、難易度が高いと思われる。

問 272：リード文に、特に降圧薬は1種類であったなど、外来での治療経過を記載する必要がある。

問 274：患者背景について条件設定をもう少し見直した方がよい。風邪気味の症状というだけでなく、肺炎症状などの表現を加えたいうえで抗生物質を選択させた方がよい。

問 306：腎機能低下患者に対して「メトホルミン中止」が選択肢になっておらず不適切である。

問 324：スポーツファーマシストは専門的である。また、詳細な解答を要求していることやコアカリに含まれていないこと、さらに、毎年改定される内容であることなどから適切ではないと考えられる。

問 326：選択肢の1, 2, 4が簡単に排除できるため平易すぎる。

問 328：Bの解答は2.52g（少数点以下2桁）である。実際の調剤に用いる天秤の感度は0.1gであるため、実秤取量は2.5gとなるが、投与日数を10日分とすると、Bの解答が3.6gちょうどになる。問題としてこのような工夫が必要と思われる。

問 331：問題のレベルが低すぎる等の批判的もあるが、実務を問う問題としてこのような出題があっても良いと考えられる。

問 332：カルボプラチンは中リスク群になっているが、催吐性は強く「高度の催吐性」を誤りとするのは重箱の隅をつつくような問題である。

問 339：簡単すぎる問題である。

問 344：簡単すぎる問題である。

3) 問題・選択肢の表現が不適切である問題

問 81：大きな問題はないが、設問が「～と定義されている」ではなくて、「～を示している」あるいは「～を意味している」とした方が、誤解を招かないと考える。

問 90：選択肢の「ポピドン」は「ポビドン」の誤りである。

問 206：セフジニルの添付文書では、相互作用として鉄剤、ワーファリン、アルミニウムやマグネシウム含有製剤が記載されているが、ビフィズス菌と抗生剤の併用については記載されていない。しかし、抗生剤使用時は、耐性でないビフィズス菌の効果は減弱すると理解することが一般的であり、セフジニルによるビフィズス菌への影響を無視することはできない。このことから、設問を、「セフジニル細粒との相互作用が問題となる・・・」ではなく「セフジニル細粒との動態学的相互作用が問題となる・・・」とするほうが適切であると考えられる。

問 208：選択肢を提示する上での情報が不足している。

問 212：処方1～3のプレドニンの処方の書き方に問題がある。朝食後服用を9日分、昼食後服用を6日分、夕食後服用を3日分、のように服用時期毎に記載する必要がある。また、本設問の処

方記載では、選択肢3が必ずしも適切でないとはならない可能性も考えられ、誤解を生じている。処方1～3に対する服用順序や服用日などの情報記載が必要である。

問224：一般名である「アレンドロン酸ナトリウム水和物経口ゼリー剤」と記載すべきである。

問235：選択肢のうち、「3. トラスツズマブの代表的な副作用に骨髄抑制がある」が間違いであると選択させる設問であるが、トラスツズマブの副作用として骨髄抑制もあるので、「重篤な骨髄抑制が高頻度で発現する」等の表現が適切である。

問236：リード文から毒物を飲んだのか、気体を吸入したかは分からないので、選択肢の中から誤っているものを的確に選択できない。シナリオ設定をもう少し詳細にすべきである。

問244：誤りとされる選択肢3について、実際には、SU剤と速効型インスリンを併用する場合もある。また、正しいとされる選択肢4では、混合型インスリン製剤は1日3回となっているが、実際には1日2回投与のことが多いなど、臨床現場での使用状況と必ずしもそぐわない点がある。また、選択肢5には、「糖毒性が解消されると」を追加すべきなど、選択肢の表現に再考の余地がある。

問248：リード文において、処方1と処方2のどちらが先に処方されていて、どちらが後から追加されたのかを明記すべきである。

問250：選択肢5の「一部負担金の減免」の内容が不明確であり、かつ今後の薬剤師の役割として、医療経済的な問題解決も重要であると思われることから、選択肢5を薬剤師に求められている行為として不適切であるとして、選択させる問題の意図に疑問が残る。

問252：コデインリン酸塩10%は一部の専門医では用いられているが、使用頻度は低い。臨床での使用状況を勘案し、トラマドールを選択肢に加えることが望ましい。

問256：表記「S-1」としてはよく使用されているが、正式にはテガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム配合剤と表記すべきである。

問258：ピオグリタゾン15mg0.5錠/日(7.5mg/日)は、1錠とすべきである。

問260：リード文の条件設定で、眠れないほどの痛みがあるのに、痛み止めが処方されておらず、心身症に伴う睡眠障害に適応があるアルプラザラムが処方されているなどの無理がある。また、服薬指導がどの薬剤に対する指導なのかを明確にすべきである。

問270：薬剤師の説明内容が不自然である。

問272：「実務」としての出題であるので、医薬品名のみでなく、徐放の有無も含めて剤形情報を記載すべきである。

問274：リード文に、血中濃度がトラフであることと、抗生物質が処方されたのであれば、風邪をこじらせて（肺炎があったため）などの表現を加える方が望ましい。また、薬剤師の本来の役割を考えると、新たに抗生物質が追加された際に薬物相互作用の可能性を指摘する設定が望ましい。

問280：選択肢2においてフェンタニル注射剤とするなど、剤形に関する情報があつた方が良い。

問286：選択肢2において「必要に応じて提案する」とすることが望ましい。

問300：初診であることから56日分処方ではなく短期間処方とするのが好ましい。

問306：「メトホルミン中止」の選択肢が必要である。

問334：3の設問中の「免許証の番号」が医師免許証を指しているのか麻薬免許証を指しているのかがわかりにくく、誤解をうむ表現である。

問338：「退院時」の処方せんが院外薬局に持ち込まれることはないので、「病院薬剤師が服薬指導を行う」設定にするべきである。

問 341：患者情報が十分でないため、選択肢 4，5 を用いた治療が行えるかどうかわからない。

問 343：車を運転するとしている患者に、眠気を起こす一般用医薬品を提案するシナリオは適切ではない。

4) 「複合性が不適切な問題」

問 200：複合問題であることを考慮すると、全体を捉えた上で重要な点を察知する能力も必要なので、ヒントが発生する方が好ましいとも考えられる。

問 284：複合性に乏しいので工夫が必要である。

問 289：前問が正解できないと答えられない。

問 292：前問が正解できないと答えられない。

5) 「授業で触れていない問題」

別紙 1 のとおり

6) 「部会としての意見」欄に記載された事項

問 208：問題としては非常に奥深いものを感じる。医療現場での実践と型通りの患者情報提供内容の乖離が浮き彫りにされた。「基本的なコミュニケーション能力があれば、たとえ処方せんに記載された内容であっても、状況に応じて服薬指導内容を修正していかなければならない。画一的な視点ではなく、柔軟に対応できる薬剤師になってほしい」との願いが込められている選択肢と感じられ、将来の薬剤師像を見据える上で問題提起をした設問である。

問 211：乳糖以外にも、デンプンを賦形剤として用いる場合もあり、若干違和感のある問題であるが、設問が「一般に～」との文言が付記されているので、消去法から正解を導くことができる。

問 226：入院患者と思われる症例に高カロリー輸液を始めて 2 週間後に、ビタミン剤の補充を考えると設定自体が不自然であり、かつ TPN の内容が不明である。口内炎ということからビタミン B 群の欠乏が考えられてビタミン B2 を選択できると思うが、葉酸を選択できるだろうかという疑問が残る。

問 240：正答は導くことができるものの、放射性医薬品取扱ガイドラインに基づく細かな作業内容を選択肢とすることへの妥当性に疑問が残る。

問 320：問題文のグラフにおいて総件数を記載するのが好ましい。授業で教えていない大学の件数が多いが、コアカリの内容（周辺領域を含めた内容）を鑑みて、出題基準からは逸脱していないと考えられる。

問 339：「のみ」の表現がある選択肢は、ほとんどの場合不適切な選択肢となるため、簡単すぎる考える。

問 343：選択肢が安易となっており、もう少しブラッシュアップされることでさらに良問となると考えられる。

7) その他特記事項

「ワルファリン K」、「ロサルタン K」および「ピタバスタチン Ca」などの表記は、それぞれ、「ワルファリンカリウム」、「ロサルタンカリウム」、「ピタバスタチンカルシウム」など、一般名として正しい表記に統一することが望ましい。

「適切でない」などの否定語を用いた質問については、今後もできるだけ避けることが望ましい。

3. 各問題の評価

別紙1のとおり

別紙 1 第101回薬剤師国家試験問題「実務」部会 評価表

	番号	誤り			適切性			表現			授業で教えて	
		ある	ない	無回答	不適切	適切	無回答	不適切	適切	無回答	いない	いる
必須問題	81	1	62	0	0	63	0	1	59	3	2	61
	82	0	63	0	1	62	0	0	62	1	1	62
	83	0	63	0	0	63	0	0	63	0	1	62
	84	0	63	0	1	61	1	0	63	0	2	61
	85	1	62	0	1	61	1	2	61	0	0	63
	86	0	62	0	1	61	0	0	60	2	2	60
	87	0	62	0	1	59	2	2	59	1	1	61
	88	0	62	0	0	61	1	0	58	4	3	59
	89	0	62	0	0	62	0	0	61	1	3	59
	90	1	61	0	3	59	0	1	57	4	8	54
一般問題(薬学実践問題)	326	0	64	0	0	63	1	2	59	3	2	62
	327	0	63	1	2	60	2	2	60	2	1	63
	328	0	64	0	4	59	1	1	62	1	2	62
	329	1	63	0	2	62	0	1	62	0	2	62
	330	2	62	0	0	64	0	3	60	1	0	64
	331	3	59	0	4	55	3	4	56	2	1	61
	332	0	60	2	1	61	0	7	54	1	10	52
	333	0	62	0	0	62	0	2	60	0	5	57
	334	1	60	1	2	60	0	6	55	1	1	61
	335	1	61	0	0	62	0	2	60	0	5	57
	336	1	62	0	3	57	3	1	60	2	11	52
	337	0	63	0	3	56	4	0	63	0	7	56
	338	0	62	1	0	63	0	2	61	0	6	57
	339	0	63	0	1	62	0	2	61	0	1	62
	340	0	63	0	1	62	0	1	61	1	3	60
	341	2	62	0	1	62	1	5	58	1	4	60
	342	0	64	0	1	63	0	0	64	0	1	63
343	0	64	0	0	64	0	3	59	2	2	62	
344	0	64	0	0	63	1	2	62	0	4	60	
345	0	64	0	0	63	1	0	63	1	10	54	

	番号	誤り			適切性			表現			複合性			授業で教えて	
		ある	ない	無回答	不適切	適切	無回答	不適切	適切	無回答	不適切	適切	無回答	いない	いる
	196	1	61	0	2	60	0	2	59	1	2	49	11	8	54
	198	2	60	0	1	60	1	5	56	1	3	53	6	7	55
	200	1	61	0	1	59	2	2	60	0	6	50	6	6	56
	202	0	62	0	2	60	0	7	55	0	2	58	2	2	60
	204	0	61	1	2	59	1	3	58	1	3	55	4	14	48
	206	1	61	1	1	62	0	5	55	3	4	56	3	6	57
	208	9	45	8	13	44	5	25	34	3	6	47	9	10	52
	211	1	62	0	2	61	0	6	54	3	3	54	6	7	56
	212	2	61	0	4	57	2	7	52	4	2	51	10	3	60
	214	0	63	0	0	62	1	1	61	1	1	59	3	5	58
	216	3	59	0	1	60	1	5	55	2	1	58	3	5	57
	218	1	61	0	1	60	1	5	53	4	1	58	3	1	61
	220	0	61	1	1	61	0	2	59	1	2	55	5	8	54
	222	0	61	1	3	56	3	0	62	0	1	56	5	9	53
	224	0	61	1	0	62	0	5	54	3	1	53	8	3	59
	226	1	60	2	4	57	2	2	60	1	2	58	3	9	54
	228	1	62	0	1	61	1	1	61	1	0	62	1	11	52
	230	1	62	0	0	62	1	2	60	1	1	59	3	7	56
	233	0	63	0	1	61	1	2	60	1	2	59	2	2	61
	235	0	63	0	2	61	0	4	58	1	2	59	2	6	57
	236	0	64	0	3	61	0	3	60	1	0	62	2	2	62
	238	0	64	0	0	62	2	2	60	2	1	61	2	6	58
	240	0	64	0	1	61	2	3	60	1	1	60	3	13	51
	242	0	64	0	3	59	2	0	63	1	0	63	1	14	50
	244	1	63	0	2	61	1	6	58	0	1	60	3	6	58
	246	0	62	0	1	60	1	0	62	0	0	62	0	5	57
	248	0	61	1	3	58	1	3	56	3	0	60	2	10	52
	250	0	62	0	1	59	2	5	53	4	3	56	3	5	57
	252	0	62	0	1	61	0	3	56	3	1	59	2	3	59
	254	1	61	0	0	62	0	0	60	2	1	60	1	3	59
	256	0	62	0	0	62	0	1	60	1	0	59	3	4	58
	258	0	62	0	0	62	0	2	60	0	1	58	3	8	54
	260	0	62	0	1	61	0	5	55	2	2	58	2	2	60
	262	2	60	0	1	61	0	2	60	0	2	58	2	5	57
	264	0	62	0	0	61	1	1	60	1	2	58	2	14	48
	265	0	63	0	2	59	2	1	60	2	1	60	2	11	52

一般問題(薬学実践問題)

	番号	誤り			適切性			表現			複合性			授業で教えて	
		ある	ない	無回答	不適切	適切	無回答	不適切	適切	無回答	不適切	適切	無回答	いない	いる
一般問題(薬学実践問題)	268	0	63	0	4	56	3	0	62	1	3	60	0	14	49
	270	1	62	1	5	57	2	2	61	1	1	61	2	15	49
	272	1	62	1	5	58	1	4	57	3	3	60	1	2	62
	274	1	62	1	4	60	0	4	60	0	1	61	2	6	58
	276	1	62	0	0	63	0	0	63	0	1	60	2	4	59
	278	0	63	0	1	62	0	3	59	1	1	60	2	10	53
	280	0	63	0	0	63	0	4	59	0	1	61	1	8	55
	282	0	63	0	0	63	0	1	62	0	1	60	2	3	60
	284	2	61	0	1	62	0	3	60	0	4	57	2	5	58
	286	1	62	0	0	63	0	3	59	1	1	59	3	10	53
	289	0	62	1	0	62	1	2	60	1	3	60	0	8	55
	290	0	63	0	1	62	0	2	58	3	2	59	2	10	53
	292	1	62	0	2	60	1	4	59	0	2	60	1	7	56
	294	0	63	0	2	61	0	0	62	1	3	58	2	6	57
	296	0	64	0	0	64	0	3	61	0	0	62	2	3	61
	298	0	64	0	1	62	1	2	59	3	3	59	2	15	49
	300	0	64	0	1	63	0	3	61	0	1	62	1	3	61
	302	0	64	0	5	57	2	0	64	0	0	61	3	3	61
	305	1	63	0	2	61	1	3	61	0	1	59	4	2	62
	306	2	60	1	2	60	1	2	60	1	0	61	2	6	57
	308	3	60	0	1	62	0	4	59	0	3	57	3	4	59
	310	0	63	0	1	58	4	4	57	2	1	58	4	7	56
	313	0	63	0	0	61	2	3	58	2	0	59	4	4	59
	314	0	62	1	1	61	1	0	60	3	2	58	3	10	53
	316	0	63	0	3	58	2	6	56	1	1	59	3	9	54
	318	0	63	0	0	62	1	2	59	2	3	56	4	4	59
320	4	58	1	4	54	5	1	58	4	1	58	4	31	32	
322	0	63	0	0	63	0	1	61	1	2	57	4	1	62	
324	1	60	2	12	43	8	5	56	2	2	59	2	29	34	

(注)無回答:「わからない(判断できない)」を表す。また、数字は回答大学数である。